村上市立村上小学校

村小だより

令和８年２月 13 日（金）発行

２月の全校集会での講話

恩送り～優しさのバトンをつなごう～

校長　仙田　満

今日は「恩送り～優しさのバトンをつなごう～」というお話をします。今、皆さんは６年生を送る会に向けて５年生を中心に一生懸命準備をしたり、出し物の練習をしたりしていますね。それは６年生からこれまでしてもらったことに感謝の気持ちを伝えたいからだと思います。６年生も１年生から５年生の皆さんや一緒に過ごしてきた６年生の仲間たち、お家の方や先生方にも感謝の気持ちを伝えたいと思っているのではないでしょうか。

「恩返し」という言葉は聞いたことがあるかもしれません。鶴の恩返しという昔話がありますが、恩返しとは、自分を助けてくれた人にありがとうの気持ちを言葉や態度で返すことです。６年生を送る会は、恩返しの一つです。皆さんは、誰かに優しくしてもらって、うれしい気持ちになったことがありますね。落としたものを拾ってもらったり、休み時間に一人でいたら「一緒に遊ぼう」と声をかけてもらったり。そんなとき、胸の中がふわっと温かくなると思います。では、そのうれしい気持ちを、みなさんはどうしていますか。してくれた人に「ありがとう」と伝えることはとても素敵なことだと思いますが、他にも素敵な方法があります。それが「恩送り」です。

恩送りとは、例えば、A さんに優しくしてもらった B さんが、今度は C さんに優しくすることです。してもらった優しさを、今度は別の誰かに渡していくことです。もらった優しさのバトン（恩）を、次の人へつないでいくイメージです。

ある朝、A さんが B さんに「おはようございます」とあいさつをしたとします。するとあいさつされた B さんは晴れやかな気持ちになり、A さんにあいさつを返すだけでなく、C さんにもあいさつをします。あいさつされた C さんも今度は D さんにあいさつをします。このように、一つの優しさが、また次の優しさを生むことがあります。これが恩送りです。優しさは、まるで波のように伝わっていきます。

この恩送りの考え方は、江戸時代からあったそうです。また、「情けは人のためならず」という言葉は人に親切にすると回り回って自分も親切にしてもらえるという意味のことわざです。英語では恩送りを「ペイ・フォワード」といいます。日本だけでなく、世界でも同じ考え方があるのです。では、村上小学校では、どんな恩送りができるでしょうか。たとえば、

・困っている友だちに「どうしたの」と声をかける
・気持ちのよい教室にするために汚れているところを掃除する
・一人でいる人に声をかけ、遊びに誘う
・「ありがとう」を伝えたり、自分からあいさつしたりする

どれも、特別なことではありません。ほんの小さな行動でも、誰かの心を明るくします。大きなことをしなくてもかまいません。困っている人に声をかける、気づいたときにちょっと手を貸す。感謝をしっかり伝える。それだけで、恩送りは始まります。たとえ、小さな優しさであっても、誰かに渡してみてください。皆さんの優しさは、きっと誰かの力になります。そして、その優しさがまた次の人の優しさにつながっていきます。今日から皆さんで恩送りを広げて、優しさあふれる村上小学校にしていきましょう。

大勢の皆様に来ていただきました　～学習参観～

１月１６日(金)に学習参観が行われました。授業における子どもたちの様子を見ていただくのは、今回の学習参観が最後でした。４月の入学、進級から間もなく１年。この間、子どもたちはたくさんのことを学び、成長してきました。人の話をしっかり聞く、進んで考えを伝える、協力して課題に取り組むなど、どの学年・学級においても、真剣に学ぶ姿がありました。また学習参観後には、体育館で、中学校部活動及び運動会に関する説明会が行われ、多くの保護者の皆様から参加していただきました。保護者及び地域の皆様のこれまでの教育活動へのご支援・ご協力に、心より感謝申し上げます。

【保護者説明会】

「中学校部活動地域展開」「次年度以降の運動会開催時期」に関する説明会に、40名を超える保護者の皆様から参加していただきました。内容は、今後の部活動の在り方（教育委員会職員による説明）と、次年度以降の運動会開催時期（当校校長による説明）についてでした。ご参会いただいた保護者の皆様、大変ありがとうございました。

1･6年生あいさつ隊　～あいさつましましキャンペーン～

あいさつの輪をさらに広げるために、１年生と６年生であいさつ隊を作り、「あいさつましましキャンペーン」を実施しました。朝活動の時間を利用して、「おはようございます」の元気な声を各教室に届けるとともに、「元気ましまし－！」「あいさつましまし－！」の掛け声を全員で唱えることで、あいさつ運動をさらに盛り上げることができました。

いろいろなとび方に挑戦！　～なわとびタイム～

体力の向上をねらいとして、全校でなわとび運動に取り組みました。体育の時間だけでなく、昼休みにも「なわとびタイム」を設け、継続的になわとび運動を行いました。なわとびカードを活用しながら、いろいろなとび方に挑戦しました。どの子も意欲的になわとび運動に取り組むことができました。

楽しかったよ！　～昔の遊びに挑戦(１年生)～

地域ボランティアの皆様をお迎えし、１年生が「むかしあそび」を行いました。おはじきやめんこ、陣取り、こま、あやとりなど、昔の遊びをボランティアの方から紹介していただき、一緒に楽しい時間を過ごすことができました。初めての遊びも多かったのですが、遊び方が分かると、どの子も教えてもらった遊びに夢中になって挑戦していました。終わった後も「もっとやりたい」という声が子どもたちから聞かれました。ボランティアとして参加していただいた皆様に心より感謝申し上げます。

6年生を送る会に向けて　～代表委員会～

６年生を送る会に向け、第２回代表委員会が開催されました。各学年の代表児童や職員が集まる中、スローガン「六年生の心に一生残る思い出にしよう！」を決定しました。また、各学年から出し物のタイトルを発表してもらい、参加した全員で確認しました。今後は、５年生が中心となって１～４年生をまとめ、企画・運営及び必要な準備を進めていきます。６年生を送る会の本番は、２月２０日(金)です。６年生の心に残る素敵な会になることを願っています。

ファミリー班での交流　～ファミリータイム～

ファミリー班のメンバーである１～６年生の交流を図るために、毎学期、ファミリータイムを何度か設けています。３学期最初のファミリータイムは、１月２９日(木)に行われました。班ごとに、ドッジボールや風船バレーボール、だるまさんが転んだなどの楽しい活動を実施し、メンバー同士の関わりをより深めることができました。今後も、いろいろな活動を通して、ファミリー班の絆をさらに強くしていきます。

火災から命を守る　～避難訓練～

火災発生を想定した、今年度最後の避難訓練を実施しました。この時期は、暖房等が原因となる火災のリスクが増えます。今回の訓練では、万が一火災が発生したときに、どのように自分の命を守ったらよいかを強く意識しながら、どの子も真剣に避難訓練に臨みました。「自分の命は自分で守る子」を目指して、保護者の皆様と連携して取り組んで参りたいと思います。

伝統の引継ぎ(５年生から4年生へ)　～メロディオン鼓隊～

村上小学校の伝統の一つであるメロディオン鼓隊の引継ぎが、着実に進んでいます。引退した５年生が４年生のパート練習に参加し、これまでの経験をもとに演奏の仕方などをアドバイスしてくれています。４年生による最初のお披露目の場は、６年生を送る会です。そこでの発表に向け、練習に励んでいます。